

村山総合支庁ニュース

—MuraSou News— 第193号 令和元年10月号 山形県村山総合支庁

「知事と若者の地域創生ミーティングinかみのやま」開催！



10月1日(火)、上山市「蔵王ウッディファーム」において「知事と若者の地域創生ミーティングinかみのやま」が開催されました。当日は暖かな秋晴れの中、農業をはじめ地元の様々な分野で活躍されている方々10名と吉村知事、横戸上山市長が対話しました。地域活動の活性化やいかにして観光客を誘致するか、未来を担う子どもたちのためにできることなど地域についての議論が交わされました。吉村知事は「皆さんの地域に対する強い愛情、思いを感じた。」と話し、今回の縁を大切にし助け合って活動してほしいと激励しました。



(総務課 TEL: 023-621-8105)

「むらやま地域森の感謝祭2019」開催！



9月28日(土)、朝日町秋葉山多目的広場を会場に「村山地域森の感謝祭2019」を開催しました。この感謝祭は緑豊かな自然の恩恵に感謝するとともに、森を守り・育てることの重要性を広く訴え、美しく住み良い郷土創造することを目指しています。当日は200人を超える来場者があり、「送橋神明こぶし太鼓」の勇壮なアトラクションの後式典が行われ、森づくり活動の普及啓発に貢献された清野忠市氏と(株)荒正様への村山地域森林・林業功労者表彰、朝日町緑の少年団による「みどりの誓い」、「森づくりリレー旗の引継」が行われました。今回の感謝祭は新元号「令和」となって最初の感謝祭となりました。代表者によるソ

メイヨシノの植樹は天皇陛下御即位記念植樹として行い、記念標柱を設置しました。その後は、参加者による一般植樹、緑の少年団による遊歩道のチップ敷きの森づくり活動で、更に美しい緑豊かな秋葉山に整備されました。会場では、朝日町の特産物の振舞いやマイ箸を作る木育コーナー、森のホームステイコーナーなど、盛り沢山の催物を準備し大賑わいでした。(森林整備課 TEL: 023-621-8248)

「林道二〇線」が全線開通！

8月9日(金)、山形県と宮城県を結ぶ林道二〇線(総延長19km、うち山形県側9km)が開通しました。平成28年度から進められていた宮城県側の舗装工事が完了し、4年ぶりの全線開通となりました。これにより、山形市山寺から仙台市秋保町の「秋保ビジターセンター」までの所要時間は、約1時間となりました。林道二〇線は、森林整備による林業の振興はもとより、幹線道路が被災した場合の宮城県への連絡道路、両県の交流人口を推進する道路としての役割も担っています。開通期間は11月上旬まで、冬期間は通行止めとなります。なお、一般の公道と異なり林道は、車道が1車線(全幅員4m)と狭くなっています。また、勾配やカーブが急な箇所がありますので、安全運転を心がけてください。(森林整備課 TEL: 023-621-8153)



むらやま若者よい！よい！通信 vol.1の発行
 ～「オールむらやま」で若者定着を応援します！！～

オールむらやま若者定着推進会議（事務局：地域産業経済課）では、この度、初めて推進会議の取組みや構成42団体の活動内容などを紹介する「むらやま若者よい！よい！通信」を発行しました。第1号では、特集として、山形大学の学生が企業を訪問し、その魅力を学生の目線でSNSを通して発信する、「きらりと光る！村山地域の企業情報・魅力発信事業」の取材の様子のほか、推進会議の各構成団体が実施する若者定着に関するイベントの状況、村山地域で生活する、働くメリットなどについて紹介しております。この通信は今後も継続して発行し、第2号では高校生向け特集号として、高校生とその保護者の皆さんに、地元で働き、暮らし、活躍することの素晴らしさについてお伝えする予定です。詳しくは村山総合支庁ホームページ（https://www.pref.yamagata.jp/regional/murayama_bo/bussiness/employ/7301041murayamatsushin.html）からご覧ください。今後も「オールむらやま」で若者定着を応援してまいります！！

（地域産業経済課 TEL：023-621-8443）

むらやま若者よい！よい！通信 vol.1

村山地域全体で県内企業・団体に向けられた機運の醸成を図るために設置された「オールむらやま若者定着推進会議」を構成する村山総合支庁と関係団体・機関等41団体の取組みをお知らせする通信です。

きらりと光る！村山地域の企業情報・魅力発信

村山地域には約1100の「ものづくり」の事業所があり、そこでは10万人を超える人達が働いて生活しています。ですが、高校卒業後に大学等に進学する約64%は県外に進学し、その多くが山形県に留まらず、県の県外移住が止まりません。若者にとって就職先を定め、暮らそうる場所がある、そんな企業が村山地域にもあること知っていただきたくはしに取組みをします。

山形大学の学生が、4人でチームを組み、村山地域の企業を訪問取材し、その魅力や技術をフェイスブックなどのSNSで情報発信する取組みを行っています。山形市の森シスターから山形のジャストの取材の様子をお知らせします。



大学生が取材した記事は、10月から毎月facebookに掲載されます。どうぞ期待ください。また、平成29年、30年の記事もあわせて掲載しております。facebook「きらりと光る山形」で検索いただき、村山のきらりと光る企業をご覧ください。

西山杉で作った積木のプレゼント



8月28日(水)に、地域の銘木である「西山杉」を使った無着色・無塗装で安心安全な積み木を木の実西部保育園にプレゼントしました。村山総合支庁では、むらやま森林ノミクスを推進するため、生活のあらゆるステージで「やまがたの木」を身近に感じてもらえるよう「しあわせウッド運動」に取り組んでいます。「しあわせウッド運動」は、幼児期から地域産の木材に親しむ（スタート）、小中高生が木を学ぶ（スクール）、事業所等における県産木材の利用（オフィス）、日常生活での木のある暮らし（ライフ）の4つの「木づかい」を進めることにより、生涯にわたって、やまがたの木に包まれた「しあわせ（4合わせ）」な生活を送ろうという県民運動です。今回の積み木のプレゼントは、幼児期から木に親しむ機会（スタート）を提供することで、子供たちに木の肌触りや温かさを体感してもらい、森林に愛着を感じてほしいという思いから行っているものです。

（森林整備課 TEL：023-621-8283）



東北中央自動車道を生かす～PR用うちわによる広報活動～

東北中央自動車道の利用を促進するため、「高速道でぐるっと巡っておいしい山形へ!!」をキャッチフレーズに、移動時間の短縮化等のメリットや村山地域の観光情報を盛り込んだ「PR用うちわ」を作成しました。表面は東北中央道、山形道、東北道による高速環状網を大きくデザインしながら、山形ー福島間の移動時間が40分短縮されおよそ1時間になったことなどの情報を掲載。裏面は日本遺産「山寺と紅花」や銀山温泉などの名所名跡に加え、冷たい肉そばや芋煮といったご当地グルメなど村山地域7市7町の観光資源を掲載しました。このうちわを8月5日（月）の山形花笠まつりパレード、9月15日（日）の日本の芋煮会フェスティバルなどで配布しました。関東方面からのお客様からは「山形道に乗ってきたが、帰りは無料区間のある東北中央道を使ってみよう」、「東北道で事故との情報があったので東北中央道を使ってこれたよかったです」などの声をいただきました。今後も、東北中央道の開通を人的・物的な交流拡大に繋げるよう、県内外に向け広くPRしてまいります。



（建設総務課 TEL：023-621-8408）

シリーズ

～むらやまの若人（わこうど）たち～Vol.65

伝統を引き継いで

おもしろ

面白人形芝居「ちくわんぴーす」

代表 奥山 桃子さん

面白人形芝居は、山辺町中地区の面白という集落で江戸時代末期から農閑期の収入源として行われてきましたが、戦後に後継者難で途絶えてしまいました。平成10年、^{なか}中学校の生徒により復活されましたが、平成23年の閉校に伴い存続の危機に。「これまで継承してきたものがなくなるのはもったいない」と「ちくわんぴーす」を立ち上げたのが卒業生である奥山桃子さんです。「ちく」は「中地区」、「わん」は「ひとつの作品」、「ぴーす」は「幸せ」と「部分」を表します。中地区で、メンバー一人一人が力を合わせ、一つの作品を作っていくという願いを込めて名づけられました。人形は人差し指と中指で首をはさみ、親指と小指に人形の手を差し込んで動かします。頭は木製で、江戸時代から使われているものもあり、頭や手の動かし方で行動や心情を表し、人形が活着しているように感じられます。8月と11月に地区で上演する「はなたれ小僧」は、話の展開、人形の動きはもちろんですが、家などの大道具や小道具が飛んだりするダイナミックな動きも楽しんでほしいと奥山さん。これまで公演後に、流しソーメンをしたり、公演を見に来られないお年寄りのために、様子を知らせる「ちくわんぴーす通信」を発行したりしてきました。「ちくわんぴーすのおかげで元気がでる」という声も聞かれ、地区の人に大事にされていると感じるようになったと嬉しそうに話してくれました。現在のメンバーは6名で毎週土曜日の夜に練習をしていますが、昨年より1名減り、仕事の都合で全員が揃わないことがあるため、台本を削ったり、登場人物を減らしたり工夫して取り組んでいるそうです。歴史ある伝統芸能、これから先も長く引き継がれてほしいものです。(子ども家庭支援課 TEL:023-627-1153)



シリーズ

～地域の課題と取組み～

鳥獣による農作物被害防止対策について

野生鳥獣による農作物被害は、直接的な被害だけでなく、農業者の営農意欲の低下による耕作放棄地の増加につながる等の深刻な問題となっています。鳥獣被害対策には、「捕獲」はもとより、未収穫果実や野菜くずの放置の除去等の「環境整備」と侵入防止柵の設置等の「被害防除」を組み合わせ、地域の実情に応じて総合的に取り組むことが重要です。村山総合支庁では、平成27年度から管内でモデル1地区を選定し、専門家の指導を受けて、地域ぐるみの住民主体の対策の実践を支援しています。これまで、ICTを用いた負担の少ない捕獲活動、電気柵設置研修、集落環境点検等を実施し、対策の選択や実施方法の課題の検証を行っています。村山総合支庁では、こうした取組みのノウハウを蓄積し、他地域へ普及を図るとともに、鳥獣による農作物被害の低減に向けた市町や地域の取組みを支援してまいります。(農業振興課 TEL:023-621-8143)



電気柵設置研修

お知らせ

「国道347号「鍋越峠」地域交流フォーラム」を開催します

「観光」をテーマとし、銀山、鳴子温泉など山形・宮城両県の観光事業者等によるパネルディスカッションなど、国道347号を介した両県の広域観光振興の可能性を探っていきます。

- ▼期日 11月11日(月) ▼時間 午後1時30分～4時00分
- ▼場所 尾花沢市共同福祉施設(尾花沢市若葉町一丁目2番18号)
- ▼内容 基調講演、パネルディスカッション
- ▼申込み・お問合せ 村山総合支庁北村山総務課連携支援室
TEL:0237-47-8614



国道347号

インフォメーション

やまがたフラワーフェスティバル2019が開催されます

本県最大の花のイベントである「やまがたフラワーフェスティバル2019」が、今年はイオンモール天童で開催されます。県内各地の生産者が栽培した最高級の花の展示・販売のほか、フラワー装飾選手権大会山形県予選会、子どもフラワーアレンジメント教室、子どもブーケ作り教室、花束の販売会が催されます。皆様ぜひお越しください。

- ◆日時◆ 令和元年10月19日(土)10:00~16:00
10月20日(日)10:00~14:00
- ◆会場◆ イオンモール天童2階イオンホール(入場無料)
- ◆内容◆

【19日】花の展示・予約販売、フラワー装飾選手権大会山形県予選会、子どもフラワーアレンジメント教室(参加費無料、事前申込制)

【20日】花の展示・予約販売、子どもブーケ作り教室(参加費無料、事前申込制)、花束の販売会

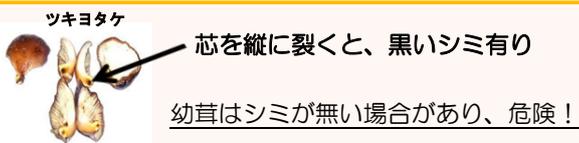
※上記各教室のお申込み方法は県ホームページの「イベント、講座・募集」欄に掲載しています。

- ◆お問合せ先◆
村山総合支庁農業振興課園芸振興担当
TEL:023-621-8387



10月はきのこ食中毒予防月間です

県内のきのこ食中毒は「ツキヨタケ」が7割以上を占めます。自生するきのこの中には、毒きのこが混じっていることがあるため注意が必要です!



★中毒症状を起こしたら!

速やかに医療機関を受診し、残品がある場合は持参してください。

きのこ食中毒予防の原則!

食用と確実に判断できないきのこは
採らない! 食べない! 売らない! 人にあげない!

村山保健所生活衛生課 TEL:023-627-1185



10月は「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」です

ご存知でしたか? 私たちにとって、がんは身近な病気です。日本人の死因の第1位で、生涯のうちに2人に1の方ががんにかかり、3~4人に1の方ががんで亡くなると言われています。

がんの原因は様々ですが、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの生活習慣に取り組むことにより、自らの努力でがんのリスクを減らすことが可能です。

また、がんによる死亡率を下げるためには、定期的ながん検診を受診することが大切です。医学の進歩によって治るがんも多くなってきました。健康を守るための第一歩、がん検診を受けましょう。(地域健康福祉課 TEL:023-627-1183)

【国が推奨するがん検診(5種類)】	
胃がん検診	子宮頸がん検診
肺がん検診	乳がん検診
大腸がん検診	

がん検診は科学的な方法によって、がん死亡率の減少が検証されています。



■発行元■
村山総合支庁総務企画部
総務課総務係担当
Tel.023-621-8105
Fax.023-624-3056

がんばれ!モンテディオ
《J2リーグ》4位(10月1日現在)
J1めざして突き進め!

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからもご覧いただけます。
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

